

# ふくだより

2018年  
第33号

## ☆ あいさつ

こんにちは。池黒のでんきやさん  
「パナックふくち」の3代目、鈴木大助です！

まだ6月なのに30℃超えの日がありました。雨が降ると10℃台になったり、気温の変化に体もついていくのが大変ですよね。

春が早く来た今年は、いつもより暑い夏になるかもしれませんがでんきやさん的には猛暑大歓迎！なのですが、みなさん、熱中症などにならないように気をつけていきましょう。

サクランボの実が赤くなり、梅雨もすぐそこ。ホタルがとんで七夕がくれば、いよいよ夏ですね！



## ☆ 大人になっても

5月の連休、みなさんどうすごされました？  
我が家は蔵王のペンションにお泊りに行きました。  
ここ数年お決まりコースですが、子どもたちはまだ飽きていないみたいで、ひと安心。

あいにくの雨模様でしたが、帰りに立ち寄った西蔵王公園では運良く晴れて外遊びができてよかったね。



連休明けの自転車教室にそなえ練習にいろしむ妹・美花。2つ上の兄は妹よりもカッコよく乗られるのがじまんデス。2人で遊ぶうちにぐんぐん上達したのでお父さんの出番はナシでした。



6月には、小学校の稲作体験で「田植え」がありました。田んぼに苗を手植えしていきます。途中でしりもちつく子がいたり、みんな泥んこ。PTA役員による田んぼフラッグ大会に出場した私も、全身泥だらけ。顔も真っ黒になるように。今回は頑張りマス(反省)。

自転車が乗られるようになったうれしい気持ち。田んぼに素足で入った感触。大人になっても忘れないでほしいなあ、お父さんは願っています。



## ☆ おかげさまで創業70周年！

長年におたるお客様の愛顧のおかげさまで、創業70周年を迎えることができました。今までお支え下さいました全ての皆様に心より感謝申し上げます。

このたびは案内の**大創業祭**もありますので、今回は、お店のこれまでを振り返ってみようと思います。



左の写真が創業者の鈴木米次。私の祖父です。こもてに見えますが孫にとってはやさしいおじいちゃんでした。釣りが大好きで、よく大きな野ゴイやライギョを釣ってきて見せてくれたのを覚えています。

その祖父が、戦争に行く前に勤めていた横須賀の電器屋さんが「福智」という屋号だったそうです。

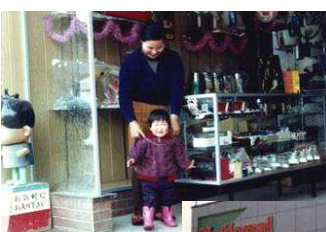
右がその電器屋さんの写真。店員さんが大勢いる立派な会社ですね。終戦後、ここ池黒の地でラジオ店を開く際、お伺いを立て屋号を使わせていただくことになったと聞いています。



「お店は福智なのになんで名字が鈴木なの？」  
その理由はこういうことだったのでした。

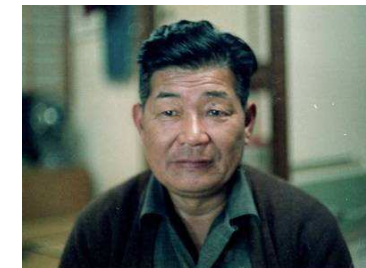


「一家に一燈一ラジオ」の時代から、三種の神器(白黒テレビ・冷蔵庫・洗濯機)の高度経済成長期へ。東京オリンピックをへて大阪万博あたりまでが、祖父の現役時代だったのかと思います。



その後、父が二代目として跡を継ぎ母と共に激動の昭和を駆け抜け、お店の基盤を築いてきました。

今、私が三代目としてお仕事をさせてもらえるのもお得意様あってのこと。これからも「ご縁」を大切に精進してまいります！



## ☆ 編集後記 ☆

今回の大創業祭のご案内状に五円玉を貼らせてもらっています。これは、本文中にもある「ご縁」にかけて準備しました。これまでの「ご縁」に感謝し、これからも「ご縁」を繋ぐことができますようにという願いが込められています。実はこの五円硬貨、社長が一枚ずつお得意様の顔を思い浮かべながら磨いてくれました。社長、ありがとうございます。それではみなさん、大創業祭でお待ちしております！

パナックふくち(Tel: 47-2079・Fax: 47-5840)